パロマガス風呂給湯暖房システム

フルオートタイプ

DH-GE2712APAZL
DH-GE2712APAZL3
DH-GE2712APAZL4
DH-GE2712APAZL4-1

ecoジョーズ

取扱説明書 保証書付

このたびはガス風呂給湯暖房システムをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
このガス風呂給湯暖房システムには保証書が付いています。内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

写真はDH-GE2712APAZL

Paloma

もくじ

	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
絵表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	8
ご利用前の準備	11
機器の準備	11
現在時刻を合わせる	12
お湯を使うには	13
お湯を使用する	13
優先切替について	14
自動でおふろを沸かすには	15
ふろ自動運転をする	15
沸かし直しをするには	16
ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには	17
ふろ温度の設定	17
保温時間の設定	17
ふろ水位の設定	18
音量を変更するには	19
音量の設定	19
おふろのお湯を熱くするには	20
追いだき運転をする	20
おふろのお湯をぬるくするには	21
ぬるく運転をする	21
おふろのお湯を増やしたいときには	22
たし湯運転をする	22
おふろが沸く時刻を予約するには	23
予約運転をする	23
暖房運転をするには	25
暖房端末機器の運転/停止	25
暖房静音について	26
暖房静音の設定	26
暖房静音の解除	26
インターホン機能で通話するには	27
ふろリモコンから給湯リモコンへ呼び出し	27
給湯リモコンからふろリモコンへ呼び出し	27
省電力機能について	28
省電力モードの解除	28
省電力モードの設定	28
便利な機能	29
自動配管クリーンをする	29
手動配管クリーンをする	30
機能の設定を変更する	31
自動配管クリーンをしない	31
ふろ待機設定をする	32
冬期の凍結予防をするには	33
凍結予防装置による方法	33
給湯栓の水を流す方法	34
不凍液による方法	34
機器の水を抜く方法	35
再使用するとき	37
凍結してしまったとき	38
点検のポイント・お手入れのしかた	39
点検のポイント(月1回程度)	39
お手入れのしかた(月1回程度)	39
定期点検のおすすめ(有料)	39
循環口のフィルターの掃除(こまめに掃除)	40
給水口フィルターの掃除	40
点検・お手入れ後の確認	40
故障かな？と思ったら	41
こんな時は故障ではありません	42
エラーコード表示について	44
仕様一覧	45
アフターサービスについて	46

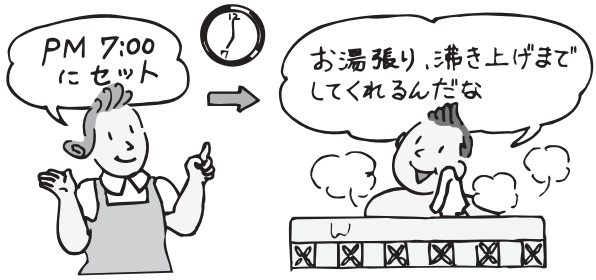
製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。
どうぞお役立てください。

便利です!

●おふろもシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。
●スイッチオン!の簡単操作でおふろが沸かせます。
(→P. 15)

●予約タイマー付きだから、忙しい方もお好きなときにバスタイム。
(→P. 23)



●浴室から台所や他の部屋にいる人と通話することができます。
(→P. 27)

快適です!

●おふろのお湯の温度を自動的に保温します。
また、水位が下がったらたし湯します。
いつも快適なおふろです。
(→P. 15)

●追いだき配管を自動的にきれいにします。

ふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。
きれいなお湯（リモコンの運転が「切」の場合は水）約6リットルを流して浴槽の循環口から排出します。
(→P. 29)

環境にもやさしい!

●リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
(→P. 28)

●熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え環境面でもCO_2削減に貢献します。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危 険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について　次のような意味があります。

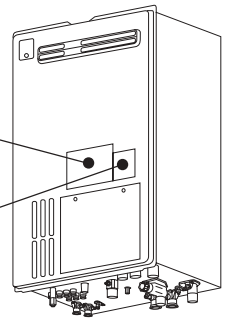
一般的な禁止　火気禁止　接触禁止　分解禁止　必ず行う　電源プラグを抜け　アースを接続せよ

お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P. XX)	参照ページを示しています。

■機器本体の表示について（図は、DH-GE2712APAZL を示します）

使用上の注意
●使用上の注意について表示しています。

銘板
●品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください

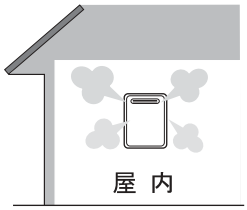
安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠ 危 険

屋内に設置しない

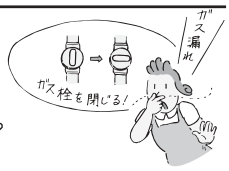
●燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

禁　止



ガス漏れに気づいたときは

①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
③お買い上げの販売店または、最寄りのガス事業者に連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

火気禁止

必ずお守りください

⚠警 告

機器設置および付帯工事
●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店かお近くのパロマへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない
●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

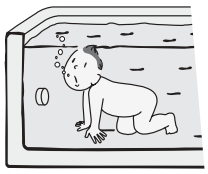
禁　止

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない
●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

ガス接続について
●この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ず、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご相談ください。

機器本体やガスの接続部などに乗らない
●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

お子様には十分な注意を
●浴槽の湯（水）に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

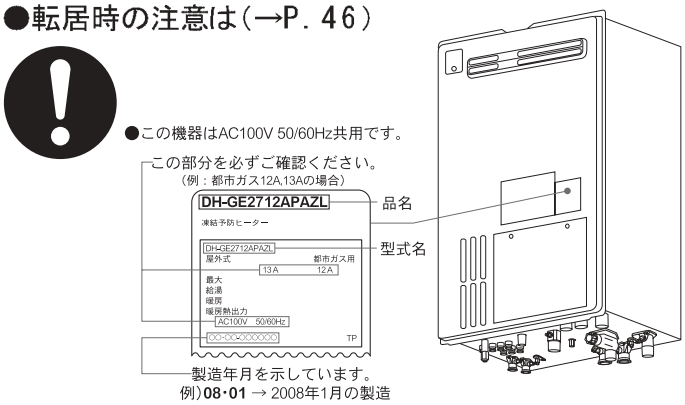


分解禁止
●お客様ご自身では絶対に分解したり修理を行わない。事故や故障の原因となります。

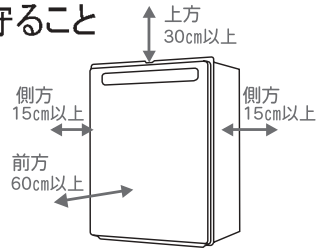
分解禁止

改造禁止
●絶対に改造は行わない。改造は事故や故障・火災の原因となります。

機器の銘板を確認
●機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
●転居時の注意は（→P．46）



火災予防のために必ず守ること
機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



●機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
●機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
●機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

禁　止

機器本体でのやけどに注意
●使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。

接触禁止

必ずお守りください

⚠警 告

異常時の処置について

●地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。

●給湯栓を開けても点火しない場合・使用途中で火が消える場合または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合

①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。

②「故障かな?と思ったら」(→P. 41～44)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店かお近くのパロマへ連絡する。

給湯栓・ガス栓を閉じる

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

①シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。

・お湯を再使用するとき　・給水圧が下がったとき

・お湯の量を急に少なくしたとき　・機器が故障したとき

②シャワー・給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「 切」にしない。

③給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。

④入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。

⑤おふろ沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

手で温度を確める

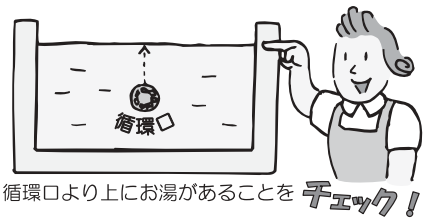
⚠注 意

用途についての注意

●一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし、暖房以外の用途には使用しない。
思わぬ事故につながることがあります。

空だき防止

●追いだきスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



循環口より上にお湯があることを チェック!

長期間使用しない場合

●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

ソーラーシステム接続禁止

●ソーラーシステムとは接続しない。ご希望の温度より高い温度のお湯が出て、やけどをするおそれがあります。

ドレン排水口から排出される水について

●ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。

水漏れに気づいた時は

●速やかに給湯栓を閉じ、機器の使用を中止する。
床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。

配管カバー(または据置き台)についての注意

●配管カバー(据置き台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 40)

必ずお守りください

⚠注 意

電気事故防止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。

●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

●電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

●濡れた手で電源プラグを触らない。
感電のおそれがあります。

禁　止

●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。

●この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。

アースを接続せよ

お願い

市販の補助用具について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。

●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。

●市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

●やけど対策上、サーモスタット混合栓の使用をおすすめします。

●混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

●ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。給湯リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。

●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

禁　止

飲用にお使いのときは

●機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

断水のとき

●給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

●断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

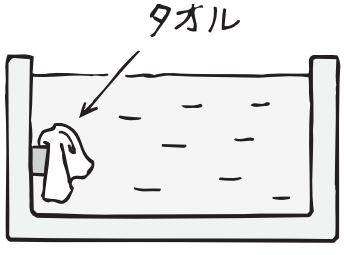
通水使用の禁止

●運転スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

入浴時の注意

●循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。

●浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障原因になります。



禁　止

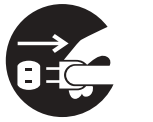
必ずお守りください

電源プラグを抜かない

●お手入れや水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

●雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

●落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。

●停電時は給湯栓を閉じてください。

●再通電したときは、リモコンの現在時刻設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。

●自動でおふろを沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、「沸かし直しをするには」（→P. 16）の操作を行ってください。

この機器は一般家庭用です

●業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

凍結についての注意

●凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P. 33）に従って処置をしてください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

●凍結したままでは絶対に使用しないでください。

●凍結したときは「凍結してしまったとき」（→P. 38）に従って処置をしてください。

ガス事故防止のために

●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプで確認してください。

日常の点検・お手入れ

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P. 39）

●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

●循環口のフィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口のフィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上る前に消火することがあります。

●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10％程度）等で拭き取ってください。

●ドレン排出配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。（高効率のため、排水量が多くなっています）

長期間使用しないときは

●「機器の水を抜く方法」（→P. 35）に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

必ずお守りください

お願い

入浴剤や洗剤についての注意

●強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ機器への悪影響がないものをご使用ください。

●薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

●ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。

お願い　設置する場所や状況について

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者とご相談ください）

●足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ドレン排出配管は除きます）

地下水や温泉水、井戸水の注意

●この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴があくなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。
この場合、保証期間内でも有料修理となります。

排気ガス

●増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。

●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。

●この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

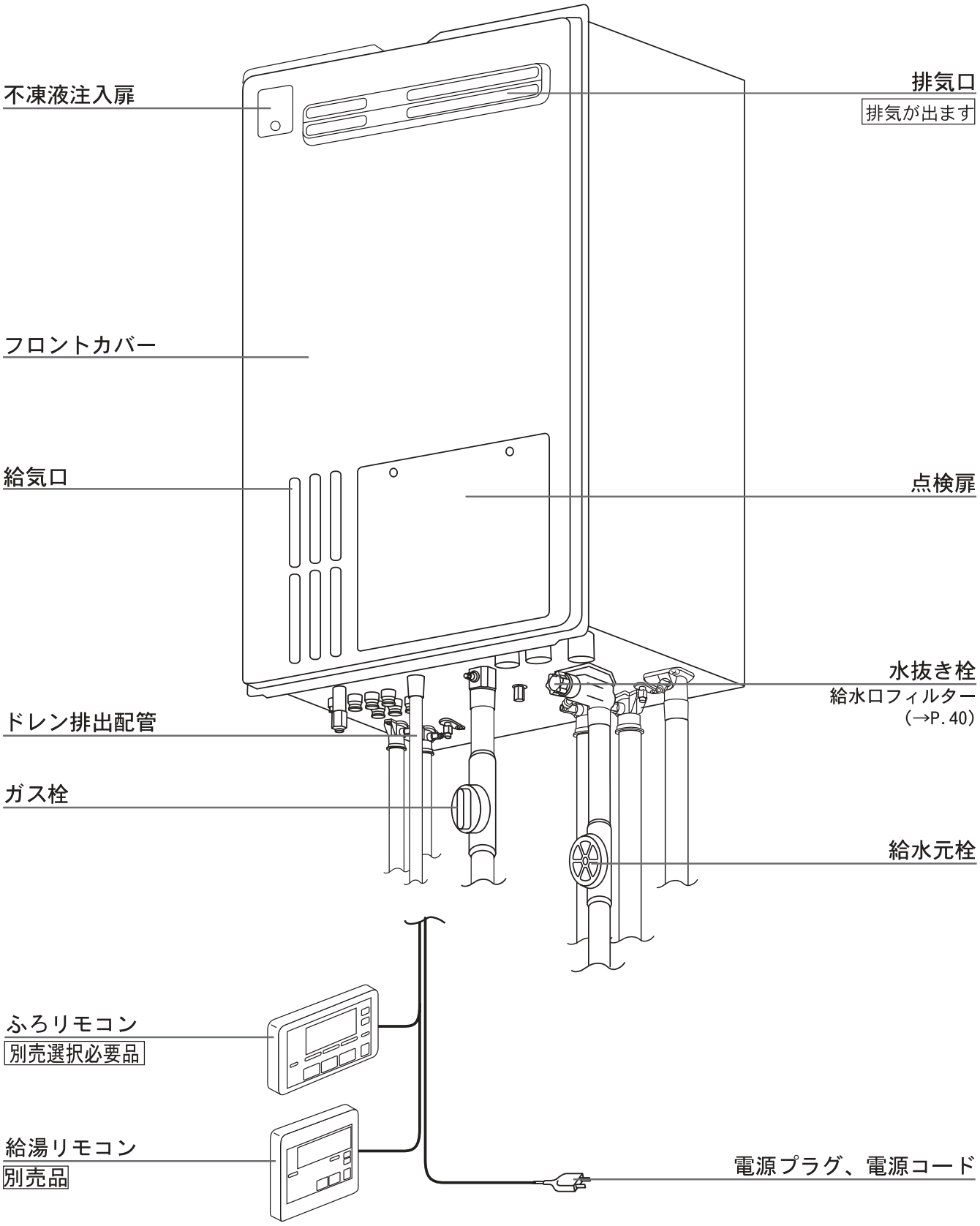
●砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

■機器本体　（図はDH-GE2712APAZLを示します）



各部の名称とはたらき

■FC-661　ふろリモコン(浴室に取り付けます)

給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作をふろリモコンで行います。別売の給湯リモコンを使うと、台所から操作(一部の操作)することもできます。

ぬるくスイッチ (→P. 21)
熱いおふろをぬるくするときに押します。

設定ボタン
ふろ温度・保温時間など各種設定をするときに押します。
長押しすると省電力モードの設定・解除が行えます。 (→P. 28)

予約ランプ[緑] (→P. 23)

燃焼ランプ[赤]

高温注意ランプ[赤] (→P. 14)

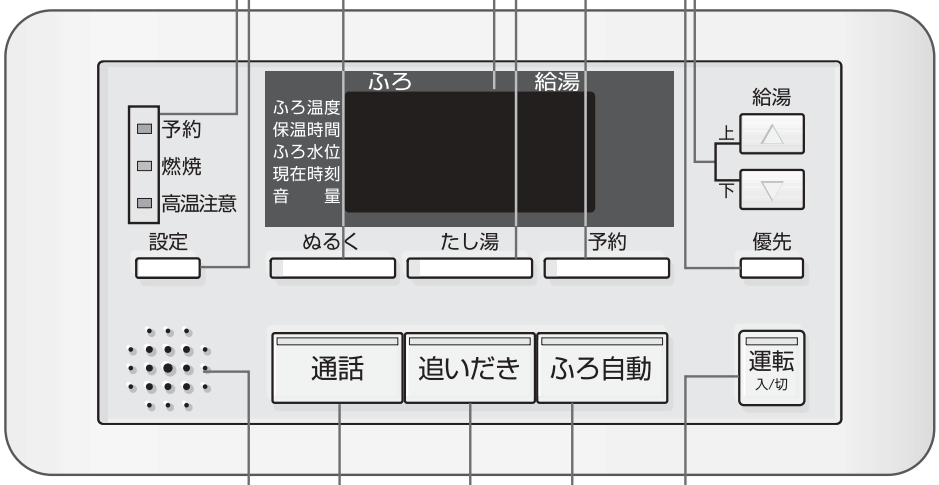
たし湯スイッチ (→P. 22)
おふろのお湯を増やしたいときに押します。

予約スイッチ (→P. 23)
時間を指定しておふろを沸かします。

優先スイッチ (→P. 14)
給湯温度調節の優先を切替えるときに押します。

上下ボタン
給湯温度の調節に使用します。(→P. 13)
その他、設定の調節をするときに使用します。

表示画面



スピーカー
設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

通話スイッチ・ランプ[緑] (→P. 27)
給湯リモコンと通話をすることができます。

運転スイッチ・運転ランプ[緑]
操作するとき最初に「入」にします。

ふろ自動スイッチ・自動ランプ[橙/緑] (→P. 15)
設定した温度・水位で自動的におふろを沸かします。

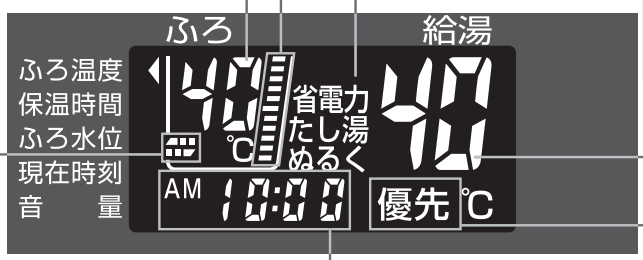
追いだきスイッチ・追いだきランプ[橙] (→P. 20)
おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。

□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

ふろ温度表示 (→P. 17)
おふろの沸き上げ温度を℃で表示します。

保温時間 (→P. 17)**/ 手動配管クリーン** (→P. 30)
ふろ自動運転の設定時には保温時間を表示します。
また、手動配管クリーン中には H を表示します。



循環中表示	追いだき運転時に表示します □ ➡ □□ ➡ □□□ ➡ 消灯 ➡ □
お湯はり中表示	ふろ自動・たし湯・ぬるく・手動配管クリーン運転時に表示します □ ➡ □□ ➡ □□□ ➡ 消灯 ➡ □

ふろ水位表示 (→P. 18)
おふろの設定水位を水位バーで表示します。

省電力表示 (→P. 28)
省電力設定時に表示します。

たし湯表示 (→P. 22)
たし湯運転中に表示します。

ぬるく表示 (→P. 21)
ぬるく運転中に表示します。

給湯温度表示 (→P. 13)
給湯温度を℃で表示します。

優先表示 (→P. 14)
風呂リモコンが優先のとき表示します。

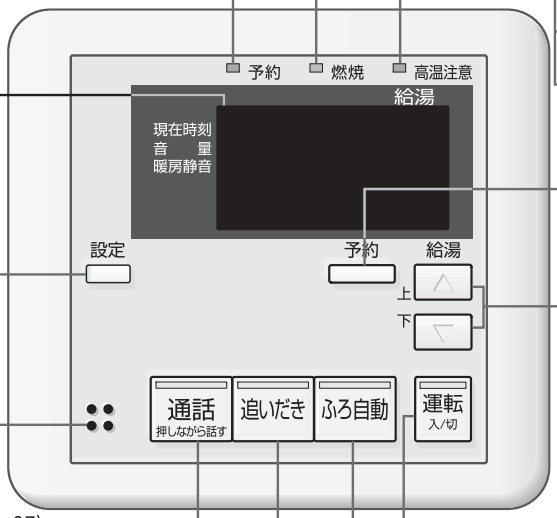
現在時刻表示 (→P. 12)
現在時刻を表示します。

予約時刻表示 (→P. 23)
おふろが沸く時刻を表示します。

各部の名称とはたらき

■MC-665　給湯リモコン

台所に設置して使用します。給湯温度の設定やふろ自動･追いだき･予約運転などの操作ができます。



予約ランプ［緑］(→P. 23)

燃焼ランプ［赤］

高温注意ランプ［赤］(→P. 14)

表示画面

予約スイッチ(→P. 23)
時間を指定しておふろを沸かします。

設定ボタン
現在時刻･音量など各種設定をするときに押します。

上下ボタン
給湯温度の調節に使用します。
その他、設定の調節をするときに使用します。

スピーカー
設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

通話スイッチ･ランプ［緑］(→P. 27)
ふろリモコンと通話をすることができます。

運転スイッチ･運転ランプ［緑］
操作するとき最初に「入」にします。

追いだきスイッチ･ランプ［橙］(→P. 20)
おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。

ふろ自動スイッチ･自動ランプ［橙/緑］(→P. 15)
設定した温度･水位で自動的におふろを沸かします。

□表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示(→P. 12)
現在時刻を表示します。

予約時刻表示(→P. 23)
おふろが沸く時刻を表示します。

予約表示(→P. 23)
予約が「入」のとき表示します。

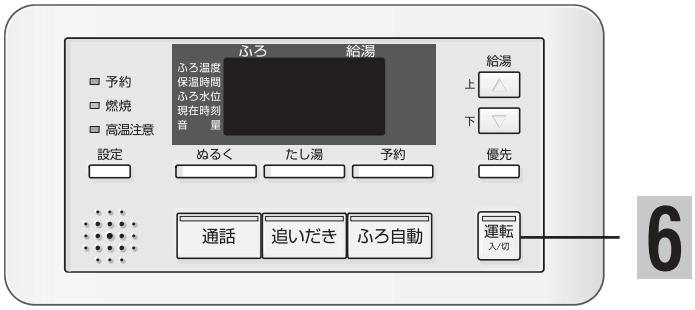
給湯温度表示(→P. 13)
給湯温度を℃で表示します。

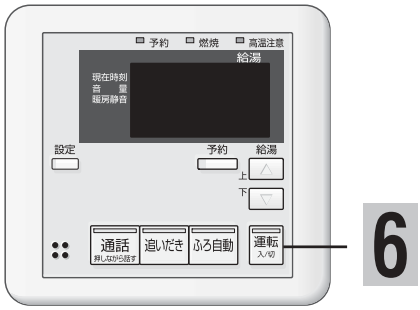
暖房静音表示(→P. 26)
暖房静音設定時に表示します。

省電力表示(→P. 28)
省電力設定時に表示します。

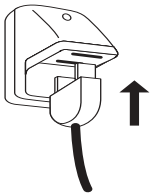
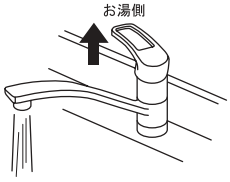
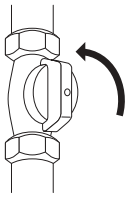
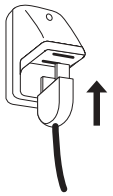
優先表示(→P. 14)
給湯リモコンが優先のとき表示します。

ご利用前の準備

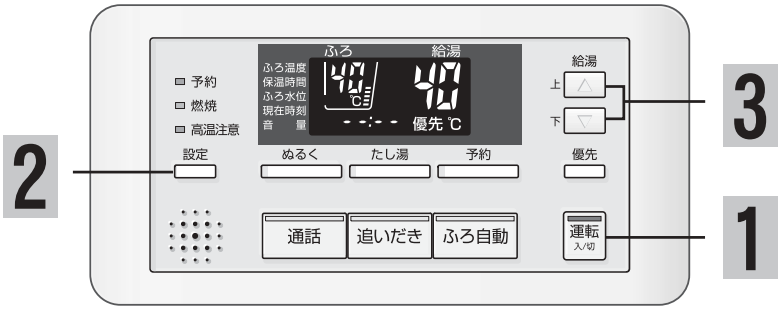


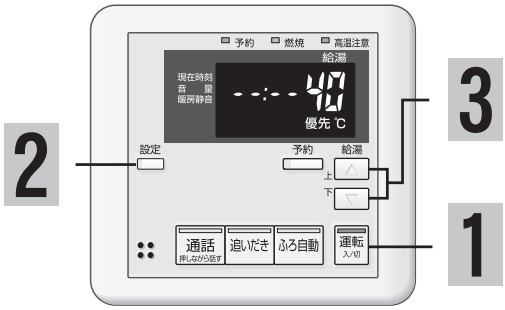


■機器の準備

操　　作	説　　明
1 機器や機器周辺の点検・確認を行います	「点検のポイント・お手入れのしかた」（→P. 35）をご覧ください。
2 給水元栓を全開にします 	機器の下部にあります。
3 給湯栓を開けます  ※図は左が給湯側の混合水栓を示します。	水が出ることを確認したら閉じます。
4 ガス栓を全開にします 	機器の下部にあります。
5 電源プラグをコンセントに差し込みます 	機器の周辺にあります。
6 リモコンの 運転 入/切 を押して「入」にします	画面が表示されます。 **“現在時刻をセットしてください”**

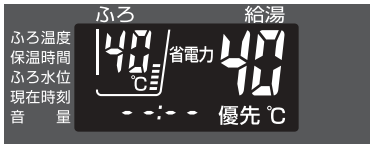
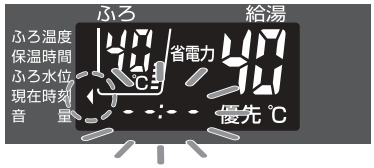
ご利用前の準備





■現在時刻を合わせる

現在時刻合わせは、ふろ・給湯のいずれかひとつのリモコンで操作します。
ここではふろリモコンで説明します。

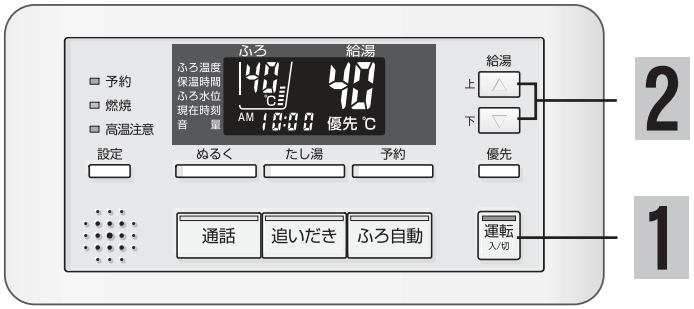
操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 設定 を現在時刻の右に◁が表示するまで押します		**“現在時刻です　上下ボタンで入力してください”**
3 上△または下▽を押して現在時刻を設定します		※現在時刻点滅中に設定を押すと、音量の設定に移ります。
現在時刻設定後、しばらく押し操作がないと確定します。		**“現在時刻、セットされました”**

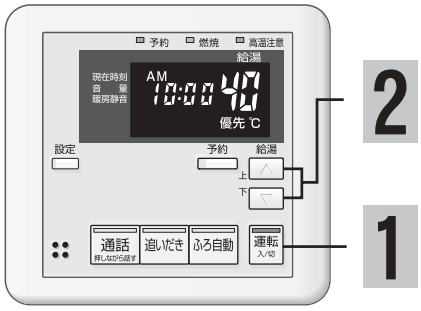
メモ

- 電源投入直後や停電からの再通電時は、リモコンの画面上に⚡が表示されます。表示が消えるまで、約40 秒程度かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから運転スイッチを「入」にしてください」。
- 出荷時の時刻表示は「−− : −−」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので、通電後は時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、運転スイッチを「入」にするたびに**“現在時刻をセットしてください”**と音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には**“熱い温度にセットされました　注意してください”**の音声ガイドも続けて流れます。
- 設定時にはAM（午前）・PM（午後）に注意してください。
- 設定時に上△または下▽を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

お湯を使うには

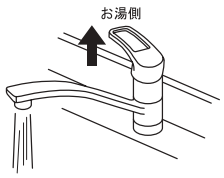
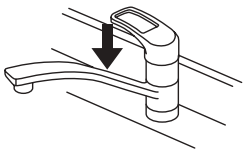
おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。





■お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先が表示されているリモコンで操作できます。
ここでは、給湯リモコンで説明します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します 給湯温度を確認します		運転ランプが点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 給湯温度を変更する場合は**優先**の点灯を確認して 上△ または 下▽ を押します		温度変更ができない場合は**優先**の表示を確認します。（→P. 14）
3 給湯栓を開けます  ※図は左が給湯側の混合水栓を示します。		リモコンの燃焼ランプが点灯します。
4 給湯栓を閉じます 		燃焼ランプが消灯します。 ※ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろおよび暖房の燃焼中は消えません。

⚠警告
- 給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

ご注意ください
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、リセット操作（→P. 43）をしてからご使用ください。

メモ
- ふろ自動運転のお湯張り中の給湯・シャワーはふろ設定温度で出湯されますが、ふろ自動運転を待機させて給湯温度で出湯する設定もできます。（→P. 32）
- 給湯使用中でも優先の表示があるリモコンでは温度の変更ができます。

お湯を使うには

□給湯温度の目安

ご使用の目安　（単位:℃）

32 35	37 38	39 40 41 42 43	44 45 46 48	50 55 60
低温 食器洗いなど		シャワー・給湯など	給湯など	高 温

40:工場出荷時

※50℃以上に設定した場合には、高温注意ランプが点灯し、音声が流れます。

“熱い温度にセットされました　注意してください”

ご注意ください

- ●給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- ●夏期など水温が高い場合、低温設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。

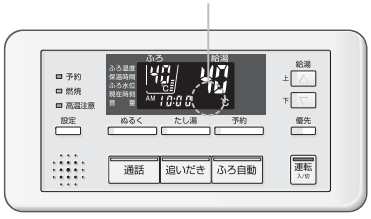
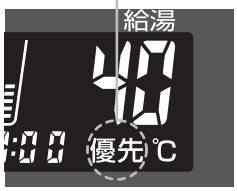
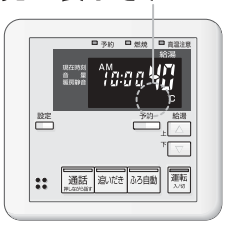
⚠警告 ●シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切替・運転スイッチを「 切」にしない。行うとシャワーの温度が急変し、危険です。必ず、ふろリモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

お願い ●ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中は、リモコンの上△または下▽を押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。

●55℃以下の温度でシャワーや給湯を使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから変更してください。

■優先切替について

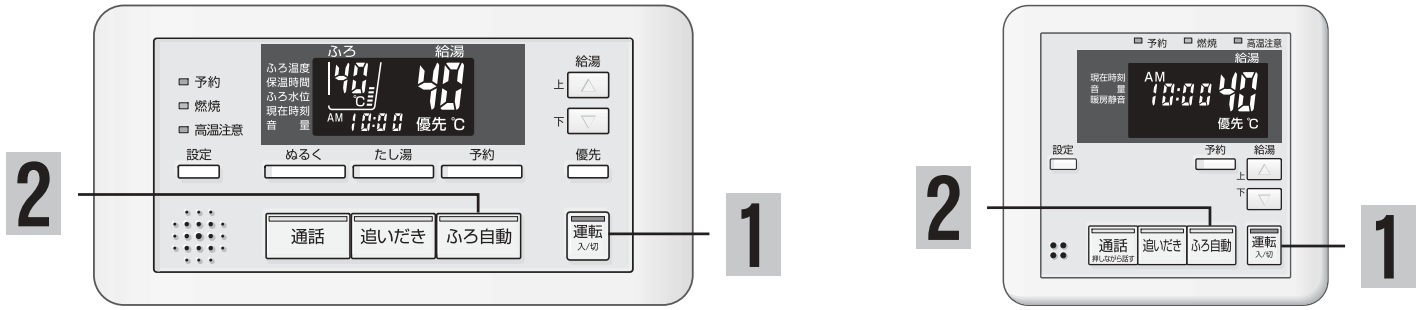
給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

	給湯温度を調節できない場合 ▶	優先切替を行う（調整可能）	▶ 給湯温度を調節できる状態
ふろリモコン	優先が表示されていない 	いずれかの操作で優先を切替えます A. 優先スイッチを押します 押すごとにふろリモコン⇔給湯リモコンと切替わり音声ガイドが流れます 浴室優先あり“給湯温度、浴室優先です” 浴室優先なし“給湯温度、台所優先です” B. 給湯△または▽を押します 	優先表示あり 
給湯リモコン	優先が表示されていない 	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする ※ふろ自動・追いだき運転などが運転中の場合は、停止します。停止させたくない場合はふろリモコンの優先スイッチで切替えてください。	優先表示あり

メモ
- ●優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットされます。
- ●ふろリモコン・給湯リモコンの給湯優先切替え時に、設定温度が50℃以上の場合には**“熱い温度にセットされました　注意してください”**とお知らせします。

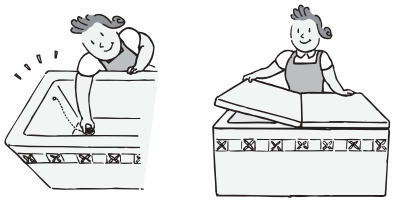
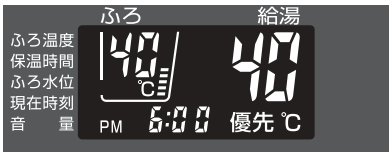
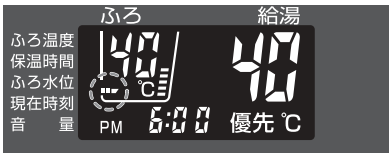
自動でおふろを沸かすには

スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。



■ふろ自動運転をする

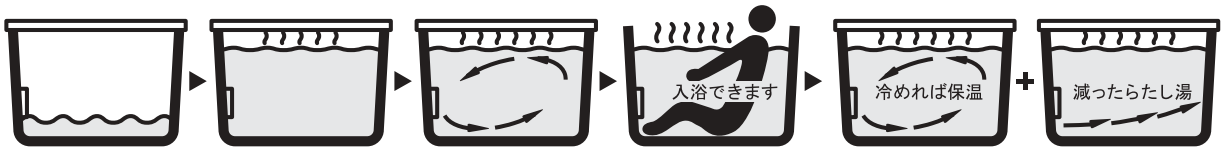
ここでは、ふろリモコンで説明します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
準備 浴槽の排水栓をしてふたをします		※初めてご利用されるときのふろ温度・保温時間・ふろ水位の確認および変更は（→P. 17～18） ※排水栓をし忘れると、アラーム番号（032または252）が点滅し、運転が停止します。 リセット操作（→P. 43）後、再度ふろ自動運転を行ってください。
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 ふろ自動 を押します ふろ自動運転が始まります		**“お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか”** ふろ自動 [橙]・お湯張り中表示・燃焼ランプが点灯します。 設定水位に近くなると **“もうすぐおふろに入れます”**
おふろが沸き上がると保温に入ります 保温時間内はふろ温度と水位を保つため、定期的に沸き上げ、お湯が減ったら、たし湯します		ふろ温度に沸き上がると **“おふろが沸きました”** お湯張り中表示・ 燃焼ランプが消灯し、ふろ自動 [橙]が[緑]に変わります。 保温時間が終了するとふろ自動 [橙]が[緑]に変わります。

メモ

●ふろリモコンの沸き上がりの音声ガイドは、優先の給湯温度が５０℃以上の場合に、**“おふろが沸きました”**から**“熱い温度にセットされました　注意してください”**に変わります。

自動でおふろを沸かすには



お湯張り開始　セット水位で自動ストップ　自動沸き上げ開始　適温自動消火　設定した保温時間内で適温と水位を保ちます

おふろ沸かしや保温を途中で停止したいときは

ふろ自動運転中に ふろ自動 を押します。ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

⚠警告
- ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。
- ●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

ご注意ください
- ●以下の場合は“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。
  1．予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
  2．ふろ設定温度に近いか高い湯温の残り湯があって、ふろ自動運転を行ったとき。
- ●自動でおふろを沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転を停止し、循環口からの湯が止まります。「沸かし直しをするには」（→下記参照）をご覧になり、再度おふろを沸かし直してください。

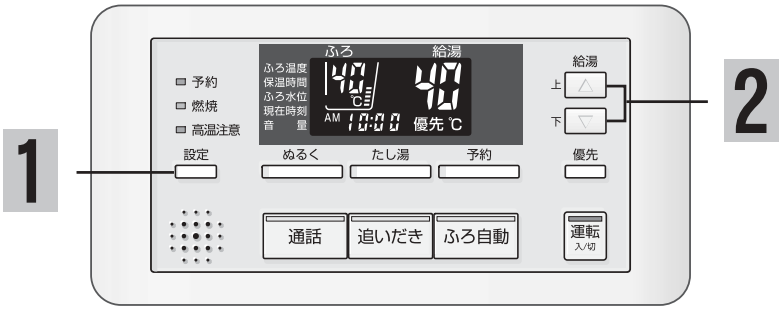
メモ
- ●ふろ待機設定をしている場合は、他の場所で給湯を使用している間、お湯張りが止まります。（→P. 32）
- ●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼ランプがついたり消えたりすることは異常ではありません。
- ●保温時のおふろ沸かしの間隔は、気温等により約15～30分の間隔で行います。

■沸かし直しをするには

「自動でおふろを沸かすには」（→P. 15）の 1 から 2 と同じ操作で行います。
また、「おふろのお湯を熱くするには」（→P. 20）でも行うことができます。（たし湯は行いません）

フルオートタイプ
- ・おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位によりふろ水位と異なる場合があります。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには



■ふろ温度の設定

ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 をふろ温度の右に◁が表示するまで押します		**“ふろ温度です　上下ボタンで入力してください”** ふろ温度が点滅します。
2 上△ または 下▽ を押してふろ温度を変更します ふろ温度変更後、しばらく押し操作がないと確定します		※ふろ温度点滅中に 設定 を押すと、保温時間の設定に移ります。 **“ふろ温度、セットされました”**

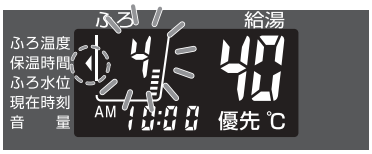
ご使用の目安　（単位:℃）

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
低温				ぬるい			標準			あつい					

40:工場出荷時

■保温時間の設定

ふろリモコンで操作します

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 を保温時間の右に◁が表示するまで押します		**“保温時間です　上下ボタンで入力してください”** 保温時間が点滅します。 ※保温しない場合は、“0”に設定してください。
2 上△ または 下▽ を押して保温時間を変更します 保温時間変更後、しばらく押し操作がないと確定します		※保温時間点滅中に 設定 を押すと、ふろ水位の設定に移ります。 **“保温時間、セットされました”**

保温時間　（単位:時間）

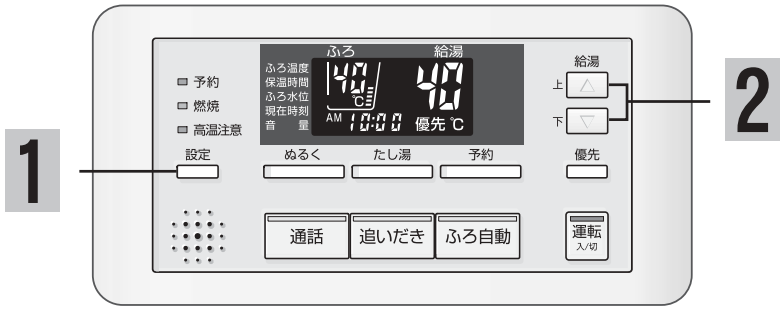
0	1	2	3	4	5	6	7	8

4 : 工場出荷時

ご注意ください

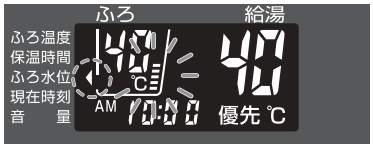
- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合があります。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには



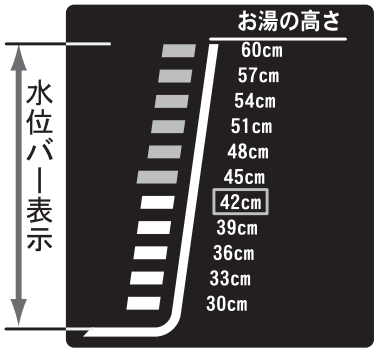
■ふろ水位の設定

ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 をふろ水位の右に〈が表示するまで押します		“ふろ水位です　上下ボタンで入力してください” 水位バーが点滅します。 ※水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください。
2 上△または下▽を押してふろ水位を変更します ふろ水位変更後、しばらく押し操作がないと確定します		※ふろ水位点滅中に設定を押すと、現在時刻の設定に移ります。 “ふろ水位、セットされました”

ふろ水位の目安

□：工場出荷時



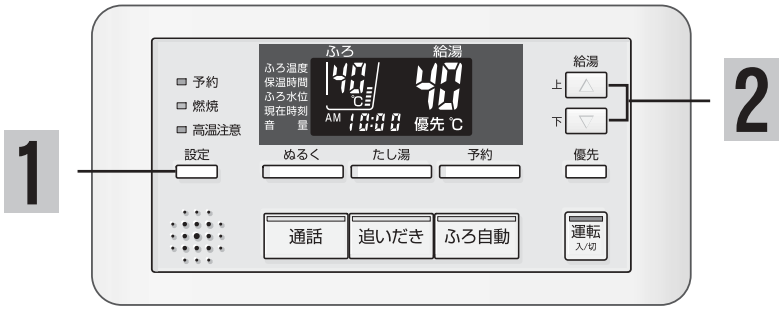
※ふろ水位とは、浴槽底からのお湯の高さのことです。

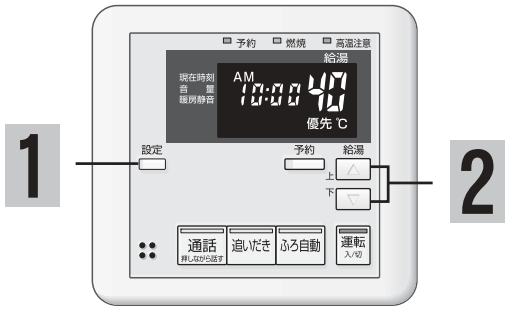
お願い
- 浴槽の種類や施工条件、外気温などによって、表示されるふろ温度やふろ水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、ふろ水位を高めに設定するとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の浴槽の水位を確 認してからお好みのふろ水位に調節することをおすすめします。なお、ふろ水位（cm）は、循環口の中心が浴槽下面から15cmにあることを前提に設定されています。

メモ
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ自動運転中でも、ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を変更することができます。
- 設定時に上△または下▽を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

音量を変更するには

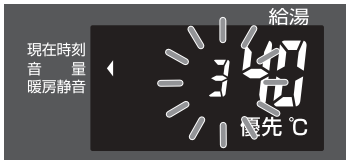
ふろリモコン給湯リモコンそれぞれ別に設定ができます。





■音量の設定

ここでは給湯リモコンで説明します。

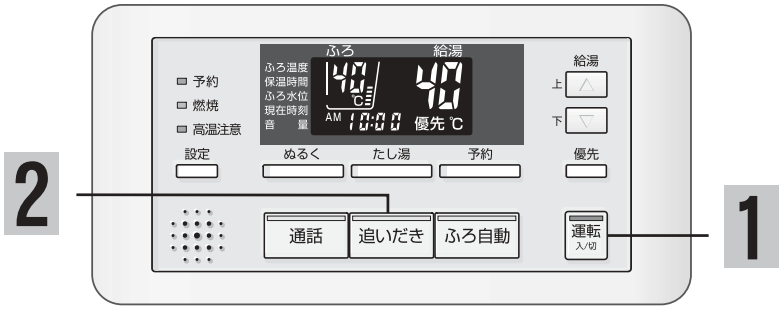
操　　作	操作後の画面	説　　明
1 設定を音量の右に◁が表示するまで押します 音量の目安 0（無音）　1（小）　2（中）　3（大） 3（大）：工場出荷時		“音量です　上下ボタンで入力してください” 音量が点滅します。 サンプル音が流れますので、お好みの音量に設定してください。
2 上△または下▽を押して音量を変更します 音量変更後、しばらく押し操作がないと確定します		※音量点滅中に設定を押すと、暖房静音の設定に移ります。 “音量、セットされました”

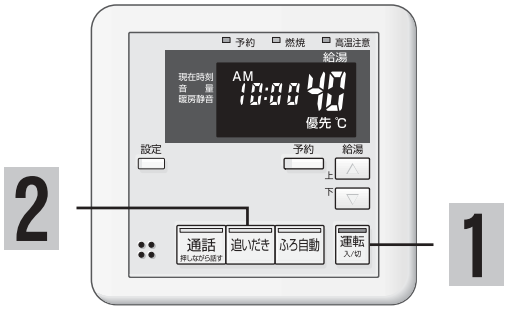
メモ

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし通話スイッチが押されたときのチャイムや音声は音量“小”で流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピッピッピッ”の音は調整できません。
- 設定時に上△または下▽を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 設定ボタンを順に押して各設定を続けて変更することもできます。設定が終了すると音声ガイドが、設定した項目についてお知らせします。

おふろのお湯を熱くするには

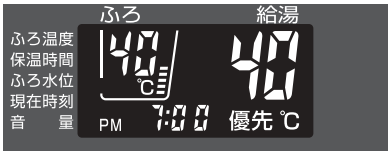
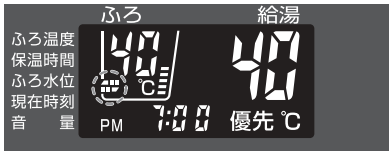
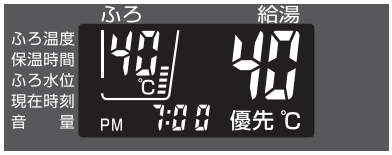
浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。





■追いだき運転をする

ここではふろリモコンで説明します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 追いだき を押します	 	**“おふろを沸かします”** 運転が開始すると、追いだきランプ・循環中表示・燃焼ランプが点灯します。 運転が終了すると、追いだきランプ・燃焼ランプ・循環中表示が消えます。

【以下の条件で自動的に停止します】

ふろリモコンで操作	浴槽の湯の温度+２℃まで沸かします。 （追いだき時の最高温度：50℃） 浴槽の湯の温度+２℃が設定したふろ温度より低い場合は設定したふろ温度まで沸かします。
給湯リモコンで操作	設定したふろ温度まで沸かします。

もっと熱くしたいときには

追いだき運転終了後にもう一度、ふろリモコンの 追いだき を押します。
お好みの湯かげんになったら、追いだき を押して停止してください。

追いだき運転中に停止するには

追いだき運転中に 追いだき を押します。
追いだきランプ・燃焼ランプとふろリモコンの循環中表示が消灯して、追いだき運転を停止します。

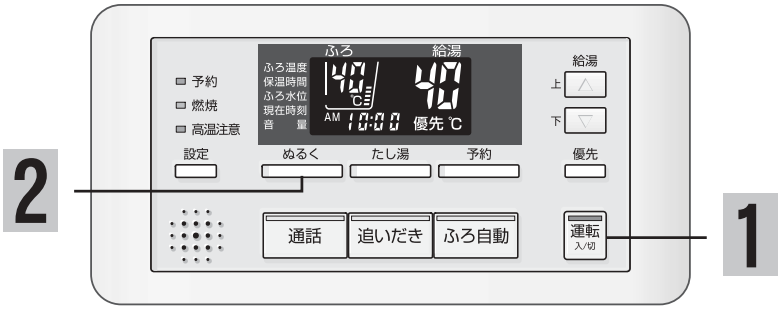
⚠注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯（水）があることを確認する。

お願い ●追いだきスイッチは長く（5 秒以上）押さないでください。入浴中に追いだきスイッチを5 秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。（→P．33）
誤って押し続けた場合はもう一度追いだきスイッチを押してください。

メモ ●ふろ自動運転の燃焼中は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

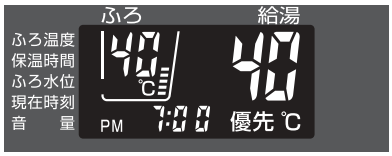
おふろのお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱いときは、ぬるくすることができます。この機能を「ぬるく」といいます。



■ぬるく運転をする

自動的に約12ℓの水を入れかくはんします。ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 ぬるく を押します		ぬるく・お湯はり中表示が点灯し、ぬるく運転を開始します。 約12ℓの水を入れて、かくはんしてから自動停止します。
		運転が終了すると、お湯はり中表示・ぬるくが消えます。

もっとぬるくしたいときには

ぬるく運転終了後にもう一度、ぬるく を押します。
お好みの湯かげんになったら、ぬるく を押して停止してください。

ぬるく運転中に停止するには

ぬるく運転中にぬるく を押します。
お湯はり中表示・ぬるくが消灯してぬるく運転が停止します。

ご注意ください

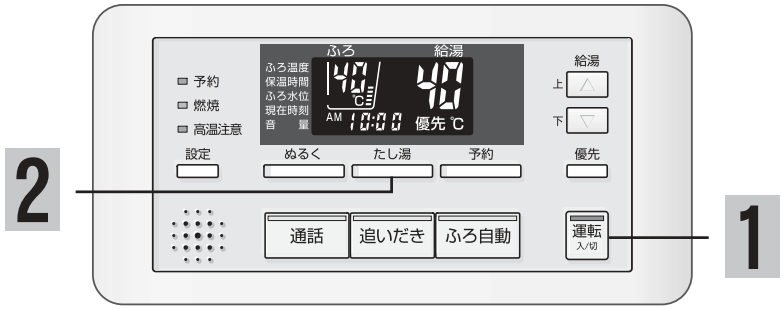
- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了すると、ぬるく運転を再開します。

メモ

- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- ふろ自動運転の燃焼中やお湯の使用中は、ぬるくスイッチは使用できません。
  押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。燃焼ランプが消えてからぬるくスイッチを押してください。

おふろのお湯を増やしたいときには

浴槽のお湯の量を増やすことができます。この機能を「たし湯」といいます。



■たし湯運転をする

自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ 入れかくはんします。ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 たし湯 を押します		**たし湯**・お湯はり中表示・燃焼ランプが点灯し、たし湯運転を開始します。 約24ℓ のふろ温度のお湯を入れて、かくはんしてから自動停止します。 運転が終了すると、燃焼ランプ・お湯はり中表示・**たし湯** が消えます。

もっとお湯を増やしたいときには

たし湯運転終了後にもう一度、たし湯 を押します。
お好みの湯量になったら、たし湯 を押して停止してください。

たし湯運転中に停止するには

たし湯運転中にたし湯 を押します。
燃焼ランプ・お湯はり中表示・**たし湯** が消灯して、たし湯運転が停止します。

ご注意ください

- たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワー等を使うときはご注意ください。
  また、たし湯を待機させ、給湯・シャワーを給湯温度で出湯させる設定もできます。（→P．32）
- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、たし湯時に燃焼しない場合があります。

お願い

- たし湯スイッチを5秒以上押し続けると、手動配管クリーン運転を始めます。（→P．30）
  誤って押し続けた場合は、もう一度たし湯スイッチを押してください。

メモ

- たし湯終了後に給湯栓を開けたときの給湯温度が50℃以上の場合はチャイムが鳴り、音声ガイドが**“熱い温度にセットされました　注意してください”**とお知らせします。

おふろが沸く時刻を予約するには

おふろの沸き上がり時間を予約することができます。

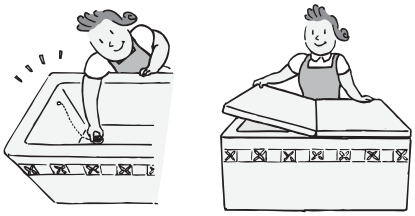
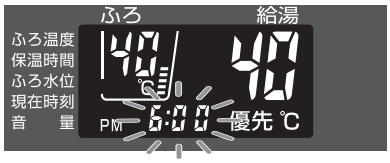
予約の設定は予約時刻の６０分前までに設定してください。
予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- ●浴槽の排水栓および、ふたがしてあることを確認。
- ●現在時刻が合っているかを確認。(→P. 12)
- ●予約時刻を確認。(→下記参照)
- ●ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(→P. 17～18)

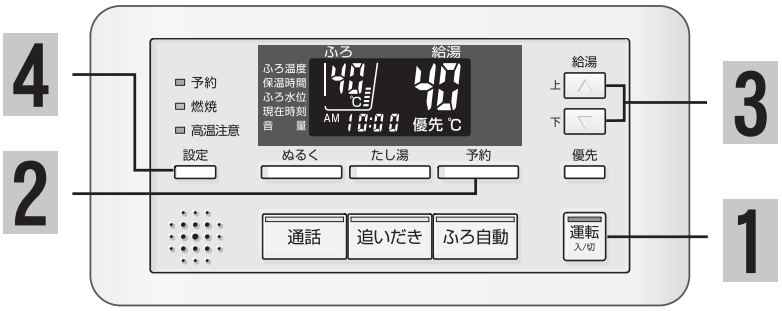
予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください

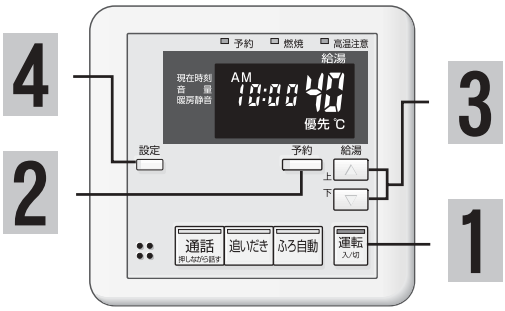
■予約運転をする

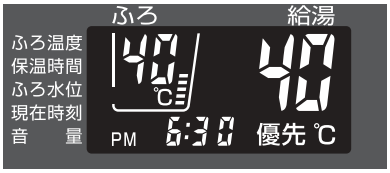
ここではふろリモコンで説明します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
準備 浴槽の排水栓をしてふたをします		
1 運転 入/切 の点灯を確認します		運転ランプが点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 予約 を押します		**“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”** 予約ランプが点灯します 予約時刻が点滅します
3 予約時刻を設定します 上△または下▽を押して予約時刻を変更します		予約時刻の変更をしない場合は上△または下▽を押さずにしばらくたつと、予約の確定となります。
4 設定 を押す、もしくはしばらく押し操作がないと確定します		**“予約されました　おふろの栓はしましたか”** 予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

おふろが沸く時刻を予約するには





操　　作	操作後の画面	説　　明
5 予約した時刻におふろが沸き上がるように、ふろ自動運転が始まります		予約ランプが消灯します。 ふろ自動 [橙]・お湯張り中表示・燃焼ランプが点灯します。
おふろが沸き上がると保温に入ります		おふろが沸き上がると **“おふろが沸きました”** お湯張り中表示・燃焼ランプが消灯し、ふろ自動 [橙] が [緑] に変わります。

予約運転を解除したいときは

※リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作ができます。

予約ランプが点灯している場合→ 予約 を押します。
“予約、解除されました”
予約ランプが消えて予約が解除されます。

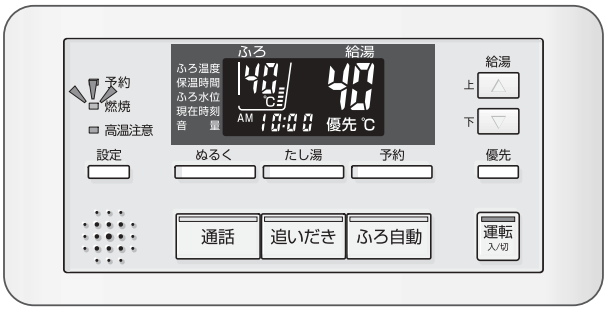
おふろ沸かしが始まっている場合→ ふろ自動 を押します。
ふろ自動ランプが消えて運転が停止します。

メモ

- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、予約運転中のお湯の使用や残り湯があるとき、また気温によって多少前後する場合があります。
- 変更した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また、予約ランプの点灯中は運転スイッチ「入」/「切」に関係なく、予約 を押すと予約は解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まり、再通電したあとは現在時刻を合わせた（→P. 12）後、再度予約 を押してください。
- 現在時刻が「--：--」になっている場合、予約 は使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

暖房運転をするには

システムエアコン・床暖房などの暖房端末機器を使用できます。操作はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。



■暖房端末機器の運転 / 停止

暖房端末機器に運転スイッチがあり、信号線を接続している場合は暖房端末機器の運転スイッチで操作します。

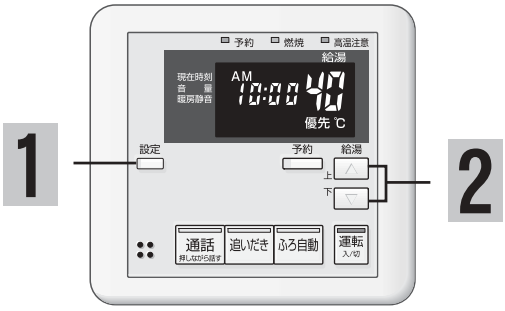
操　　作	操作後の画面	説　　明
運転 暖房端末機器の運転スイッチを「入」にします。		暖房端末機器の運転状況により燃焼ランプが点灯します。
停止 暖房端末機器の運転スイッチを「切」にします。		暖房端末機器の運転を停止します。

メモ

- ●暖房運転中のリモコンの燃焼ランプは、リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく、暖房端末機器の運転状態により点灯および消灯をします。
- ●暖房端末機器の運転方法・温度調節の方法については、暖房端末機器の取扱説明書をご覧ください。
- ●暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。

暖房静音について

暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。
この際、暖房能力は少し低下します。



■暖房静音の設定

給湯リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 を暖房静音の右に◁が表示するまで押します		“静音です　上下ボタンで入力してください”
2 上△または下▽を押して 暖房静音 を表示します 設定 を押す、もしくはしばらくたつと確定します		“静音、セットされました” ※運転スイッチが「切」の場合でも 暖房静音 は表示されます。

■暖房静音の解除

給湯リモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 を暖房静音の右に◁が表示するまで押します		“静音です　上下ボタンで入力してください”
2 上△または下▽を押して 暖房静音 を消します 設定 を押す、もしくはしばらくたつと確定します		“静音、解除されました”

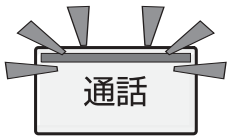
メモ

- ●リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく暖房静音の設定ができます。
- ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ●リモコンの運転スイッチを「切」にしても設定は解除されません。
- ●暖房静音運転中に追いだき運転やふろ自動運転を行うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが異常ではありません。

インターホン機能で通話するには

浴室にいる時に何か必要なものがあって人を呼びたい、あるいは気分が悪くなった時などに、押すだけで給湯リモコンのチャイムを鳴らして知らせ、通話ができます。
浴室から台所などにいる人を呼んで通話をしたいときにご利用ください。また、台所などから浴室へ呼び出し、通話もできます。

■ふろリモコンから給湯リモコンへ呼び出し

呼び出し（ふろリモコン）	応答（給湯リモコン）
通話を押します。  通話ランプ点灯 チャイムが鳴ります。 通話ランプの点灯中（約30秒間）に、ふろリモコンに向かって話します。 通話ランプの点滅中や消灯時は、通話ができません。	チャイムが鳴り、通話ランプが点滅してふろリモコンの声が流れます。 通話ランプ点滅 **［折り返しふろリモコンへ通話したいときは］** 通話ランプの点滅中に、通話 押しながら話すを押しながら話します。 ※押している間（通話中）は、通話 押しながら話すが点滅から点灯に変わります。

途中で通話を止めるには

ふろリモコンでは、通話ランプ点灯中に通話を押します。	給湯リモコンでは、通話ランプ点滅中に通話 押しながら話すを押します。
通話ランプが消灯します。	通話ランプが消灯します。

■給湯リモコンからふろリモコンへ呼び出し

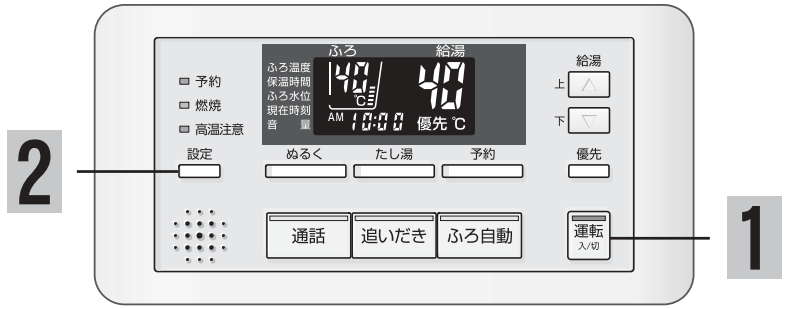
呼び出し（給湯リモコン）	応答（ふろリモコン）
通話 押しながら話すを押し続けます。 通話ランプ点灯 チャイムが鳴ります。 通話ランプが点灯したら、通話 押しながら話すを押し続けたまま話します。	チャイムが鳴り、通話ランプが点滅して給湯リモコンの声が流れます。 通話ランプ点滅 **［折り返し給湯リモコンへ通話したいときは］** 通話ランプの点灯中に、ふろリモコンに向かって話します。

お願い
- ●給湯リモコンで通話するときは、通話スイッチを押しながらお話しください。

メモ
- ●運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- ●ふろリモコンは、ハンズフリー（通話スイッチを押さない）で通話できます。
- ●リモコンに近づき過ぎて話すと音声が割れることがあります。リモコンとの距離は30cm前後で話してください。

省電力機能について

5分以上何も操作しないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。



■省電力モードの解除

ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します **省電力**があることを確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。 省電力モード中の場合は、リモコンの画面を表示して確認します。
2 ふろリモコンの 設定 を5 秒以上押し続けます		**“省電力、解除されました”** 各リモコンの**省電力**が消えます。

■省電力モードの設定

ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します **省電力**がないことを確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 ふろリモコンの 設定 を5 秒以上押し続けます		**“省電力、セットされました”** 各リモコンに**省電力**が表示します。運転スイッチの「入」/「切」にかかわらず、5 分以上操作がない場合は画面表示が消えます。

省電力モード中に画面を表示させるには

各スイッチ(呼び出しを除く)およびボタンを押すと表示します。

追いだき　ふろ自動

ご注意ください

左図のスイッチは、押すと画面が表示されると同時に、運転を開始します。

リモコン操作をしなくても こんな場合は表示します

・お湯を使用しているとき
・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
・ふろ自動運転中（保温を含む）

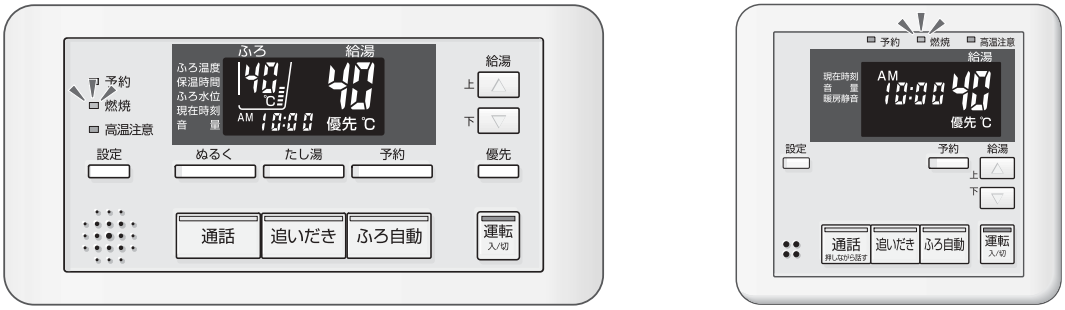
お願い

- 省電力モード中で画面が消えているときに給湯・シャワーを使うときは、画面を表示させて給湯温度を確認してからご使用ください。
- ふろ自動・追いだき・通話以外のリモコン操作は、画面が消えている状態では受け付けません。操作を行うときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。

メモ

- 省電力モードは運転スイッチの「入」/「切」では解除できません。
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

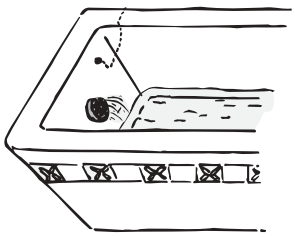
便利な機能



※リモコンが「入」になっていると、燃焼ランプが点灯します。

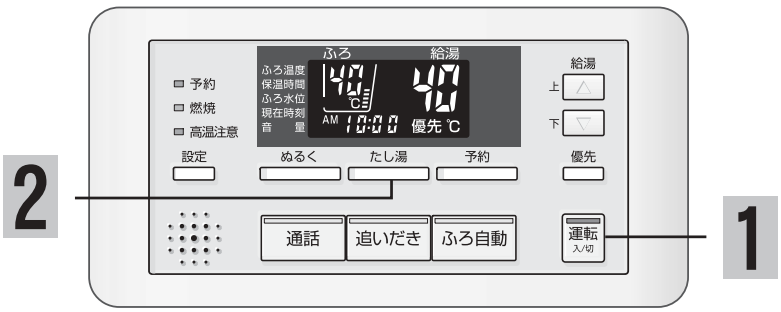
■自動配管クリーンをする

浴槽のお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯をきれいなお湯（水）で流し出す機能です。

操　　作	説　　明
条件 1. ふろ自動運転終了後の残り湯が循環口より上にあること 2. 浴槽のお湯を排水中に給湯やシャワーを使用していないこと	※リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく機能します。
1 浴槽の栓を抜きます	※浴槽の水（お湯）を排水するときには、必ず［ふろ自動］の消灯を確認してください。 点灯しているときは、［ふろ自動］を押します。
2 残り湯の水位が循環口より低くなると、自動配管クリーンが始まります 	6ℓのお湯（または水）を1分弱で流し、自動停止します。 ※自動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、動作を終了します。

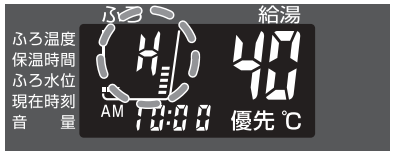
メモ

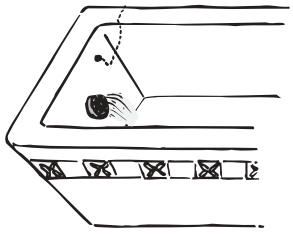
- ●自動配管クリーンはリモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく機能します。
- ●リモコンが「入」の時にはふろ温度のお湯で、「切」の時には水で流し出します。
- ●ふろ自動運転終了後、お湯の汲み出し等で浴槽の水位が循環口より低くなってしまった場合にも、自動配管クリーンの機能がはたらきます。
- ●自動配管クリーンは、ふろ自動運転毎に1回行います。
- ●自動配管クリーンを作動させない設定にすることもできます。（→P．31）



■手動配管クリーンをする

追いだき配管内の残り湯をきれいなお湯で流し出す機能です。
ふろリモコンで操作します。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転 入/切 の点灯を確認します		点灯していないときは、運転 入/切 を押します。
2 たし湯 を5 秒以上長押しします 手動配管クリーンを開始します		H とお湯はり中表示を表示します。6ℓのお湯（ふろ温度）を1 分弱で流し、自動停止します。 終了すると H とお湯張り中表示・燃焼ランプが消えます。

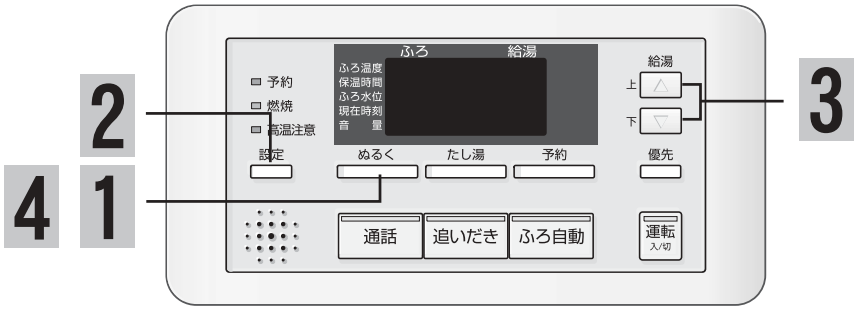


手動配管クリーン中に停止するには

たし湯 を押します。画面表示が通常に戻り、手動配管クリーンが停止します。

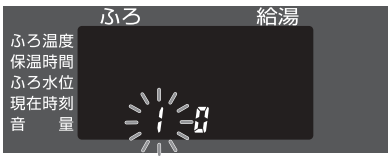
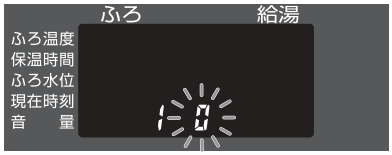
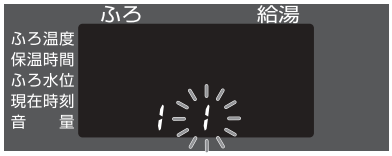
メモ ●手動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、動作を終了します。

機能の設定を変更する



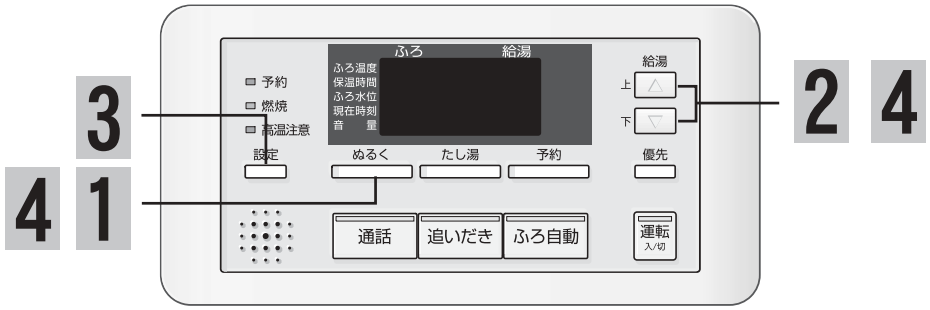
■自動配管クリーンをしない

自動配管クリーン機能を動作しないようにすることができます。
ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 リモコンの運転が「切」になっていることを確認します ぬるくを“ピッ”と鳴るまで（2 秒以上）長押しします		点灯しているときは、運転 入/切 を押します。 **1** が点滅します。
2 設定を押します		**1** へ点滅が変わります。
3 上△または下▽を押して **1** を選択します		**1** →自動配管クリーンをする（工場出荷時） **1** →自動配管クリーンをしない
4 ぬるくを押します		“セットされました”

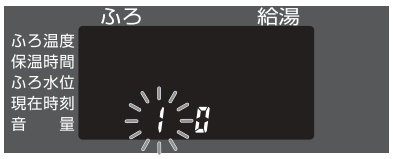
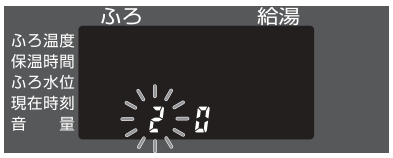
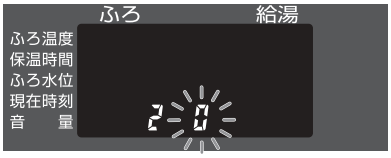
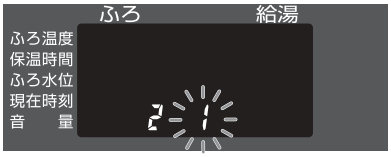
メモ ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

機能の設定を変更する



■ふろ待機設定をする

ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯・シャワーを使用した場合、給湯温度で出湯することができます。お湯を使用している間はふろ自動運転のお湯張りやたし湯を停止（待機）することになります。ふろリモコンで操作します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 リモコンの運転が「切」になっていることを確認します ぬるくを“ピッ”と鳴るまで（2 秒以上）長押しします		点灯しているときは、運転 入/切 を押します。 **1** が点滅します。
2 上△または下▽を押して **2** を選択します		**2** が点滅します。
3 設定を押します		**2** へ点滅が変わります。
4 上△または下▽を押して **1** を選択します		**1** →ふろ自動お湯張り中注湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯の同時使用が可能。 給湯・シャワーはふろ温度で出湯されます。
ぬるくを押します		**1** →ふろ自動お湯張り中給湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、ふろ自動運転のお湯張りやたし湯が停止（待機）します。 給湯・シャワーは給湯温度で出湯されます。 **“セットされました”**

メモ ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

⚠注意
- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温－１５℃、有風５m／秒程度まで）

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水（湯）を循環して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

- 凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど地域に応じて処置をしてください。

浴槽の水（湯）は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- 浴槽の水（湯）を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずそのままにしておいてください。

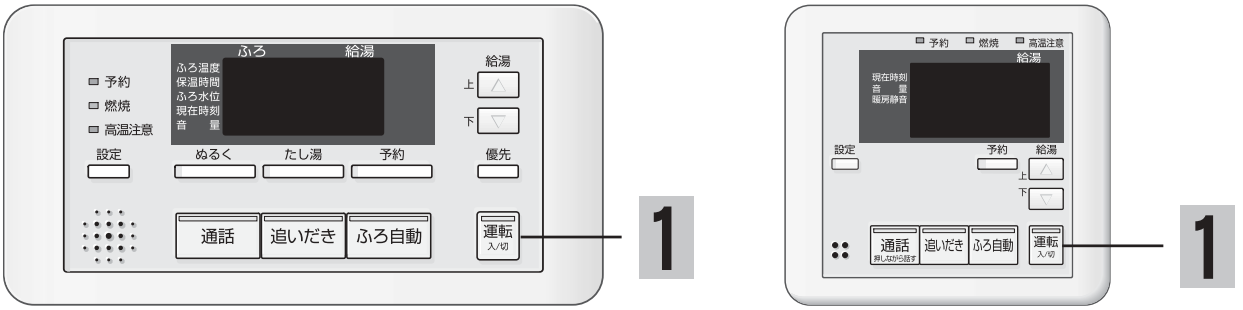
暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておいてください

- 暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転（燃焼）し、暖房回路を温めて凍結予防をします。
  機器および端末機器の電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切らないでください。
  （端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります）
- 暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。（→P．35）

お願い
- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

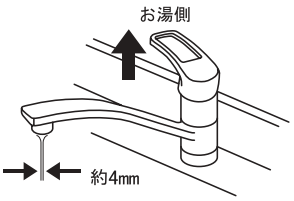
寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

冬期の凍結予防をするには



■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操　作	説　明
1 運転 入/切 を押して リモコンを「切」にします	必ず行います。
2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400ｃｃ程度の水を流し続けます  ※図は左が給湯側の混合水栓を示します。	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。

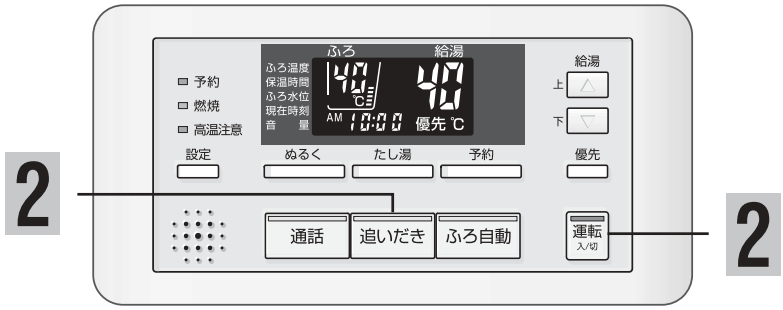
メモ

- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。（→P．5）
- シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

■不凍液による方法

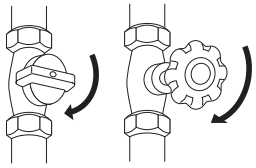
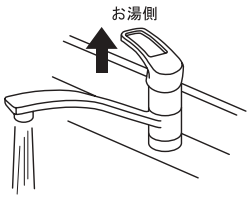
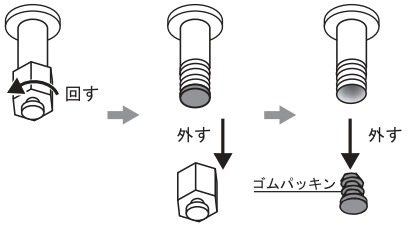
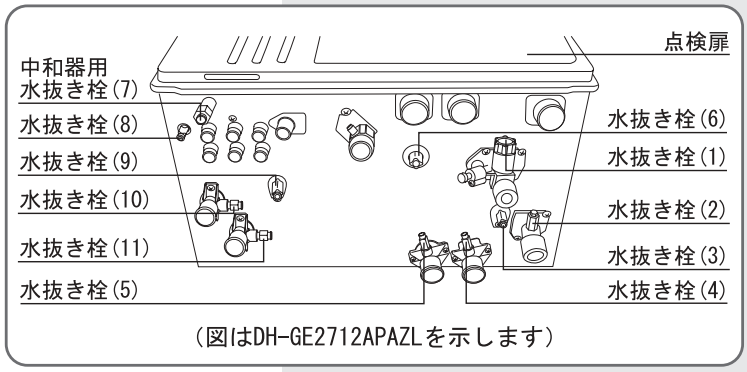
- 寒冷地では不凍液を使用してください。不凍液は経年劣化します。毎シーズン初めにお買い上げの販売店、かお近くのパロマにチェックを依頼して、3 年に1 度交換してください。
- 暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

冬期の凍結予防をするには

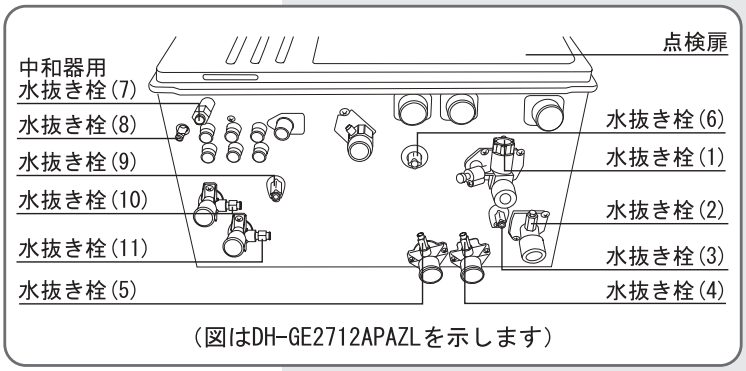
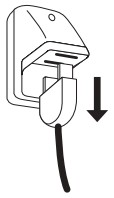


■機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

操　　作	説　　明
1 ガス栓と給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 浴槽の水を完全に排水します ふろリモコンの 運転 入/切 の点灯を確認し、追いだきを5秒間押し続けます	※浴槽の水が排水されていないとリモコンにエラーコード“032”が点滅します。 再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。
3 すべての給湯栓を全開にします  ※図は左が給湯側の混合水栓を示します。	
4 水抜き栓(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)を外します **水抜き栓(7)の外しかた** 水抜き栓(7)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます 	 （図はDH-GE2712APAZLを示します）

冬期の凍結予防をするには

操　　作	説　　明
5 暖房回路の水抜きを行わない場合は**7** **8** の操作を行います	
6 暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をします **【不凍液が入っている場合】** **7** **8** の操作を行います **【不凍液が入っていない場合】** 水抜き栓(8)(9)(10)(11)を外します	※不凍液注入の有無は、機器フロントカバー貼付のラベルで確認します。  （図はDH-GE2712APAZLを示します）
7 水抜き栓からの水が出なくなったら、必ず電源プラグを抜きます	 機器の周辺にあります。 電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。
8 完全に排水したことを確認し、すべての水抜き栓を元通りに取り付けます	

⚠注意
- ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- ●配管カバー（または据置き台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 40）

お願い
- ●水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- ●暖房回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
- ●水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。

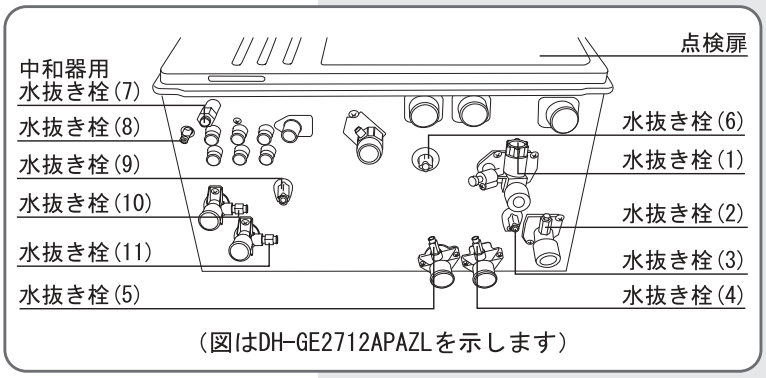
冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

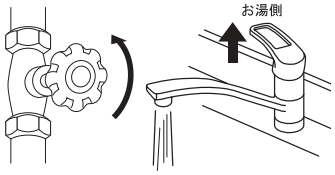
操　　作	説　　明

1 水抜き栓（1）～（11）およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します



（図はDH-GE2712APAZLを示します）

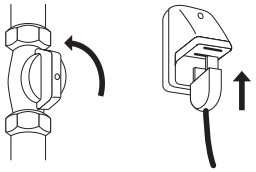
2 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します
また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します。



給水元栓は機器の下部にあります。

水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。

3 ガス栓を開け、電源プラグを差し込みます



ガス栓は機器の下部にあります。
コンセントは機器の周辺にあります。

4 リモコンの現在時刻を設定します（→P. 12）

5 ふろ自動 を押し、ふろ自動運転を行います
浴槽に湯を張り水位などを確認します

通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンにアラーム番号“173”“543”が出る場合
端末機器側の運転とリモコンの運転スイッチを一旦「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグの抜き差しをしてから再使用してください。

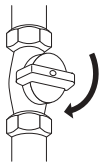
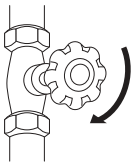
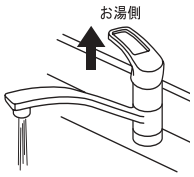
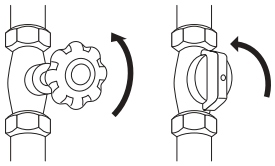
⚠注意 ●配管カバー（または据置き台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 40）

お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操　　作	説　　明
1 ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3 運転 入/切 を押して リモコンを「切」にします	
4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます  ※図は左が給湯側の混合水栓を示します。	給水元栓は、機器の下部にあります。
5 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます 	機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
6 運転 入/切 を押して リモコンを「入」にします	

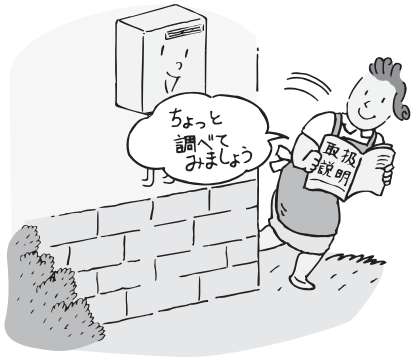
⚠注意 ●配管カバー（または据置き台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 40）

お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月１回程度）

次の7つのポイントで点検してください。



1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2 機器および配管からガスの臭気がしませんか?

3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか?

4 機器の外観に異常は見られませんか?

5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか?
また、整然とされていますか?
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6 浴槽の循環口にフィルターがついていますか?

7 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか?
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

■お手入れのしかた（月１回程度）

機器本体およびリモコンのお手入れ

●汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、
軽く拭き取ってください。
●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。

■定期点検のおすすめ（有料）

●機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店かお近くのパロマへご相談ください。

⚠警告●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

分解禁止

ご注意ください

●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
●給湯リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、ふろリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

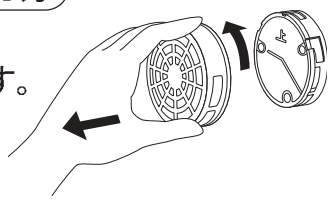
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口のフィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口のフィルターも掃除してください。循環口のフィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口のフィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

循環口のフィルターの外し方

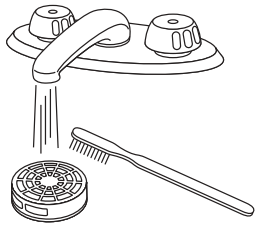
循環口のフィルターを
左に回して手前に引きます。



循環口のフィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。

掃除後、循環口のフィルターを
元のように取り付けます。

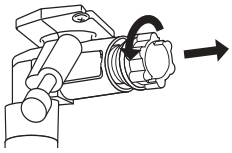


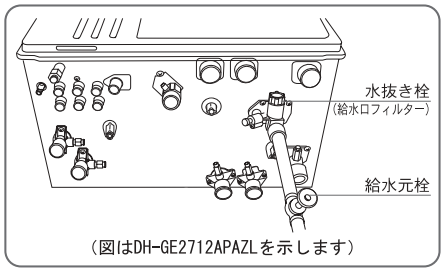
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築の場合）

1 給水元栓を閉じる

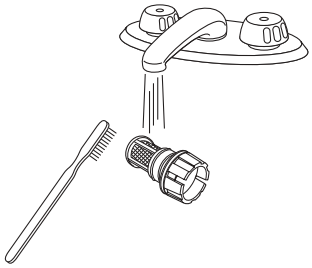
2 水抜き栓を外す



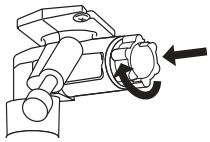


（図はDH-GE2712APAZLを示します）

3 歯ブラシなどで洗う



4 元のように取り付ける



■点検・お手入れ後の確認

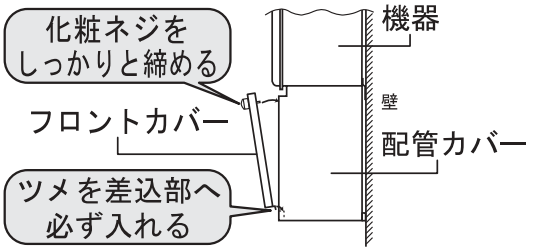
点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

配管カバー（据置き台）のフロントカバーについて

配管カバー（据置き台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。

②化粧ネジを確実に締める。



お願い

- 循環口のフィルターは必ず取り付けてご使用ください。
  循環口のフィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。
  水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に表示が出ない	省電力モード中ではありませんか (→P.28) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.11) 停電していませんか (→P.5)
エラーコード「032」「252」「542」が点滅し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか (→P.11) 断水していませんか (→P.5) おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→P.15) 循環口のフィルターが詰まっていませんか (→P.40)
燃焼ランプが点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→P.11) 給水元栓が全開になっていますか (→P.11) 断水していませんか (→P.5) 給湯栓が十分開いていますか (→P.13) 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.40) 浴槽に水が入っていますか(追いだき運転時) (→P.20) 循環口のフィルターが詰まっていませんか(ふろ使用時) (→P.40)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→P.13) 温度調節は適切ですか (→P.13) シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度のセットは適切ですか (→P.17) 循環口のフィルターが詰まっていませんか (→P.40)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位のセットは適切ですか (→P.18) 循環口のフィルターが詰まっていませんか (→P.40)
暖房がきかない(ききが悪い)	ガス栓が全開になっていますか (→P.11) 暖房端末機器の温度設定は適切ですか 床暖房は暖まるまでに時間がかかる場合があります

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

故障かな?と思ったら

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約3.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ぬるく」「ふろ自動」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふろ自動スイッチを押した後すぐにお湯張りを始めなかったり、ときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯張りをするための動作です。
おふろを使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水したあと、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能がはたらくと、循環口からお湯(水)が出ます。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」「ふろ自動」「追いだき」「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エアー抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。
床暖房を使用していないのに床が暖まることがある	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の端末機器(浴室暖房等)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。この機器は、熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた場合の再通電時は、時刻表示が「--:--」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.12)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

故障かな?と思ったら

●不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。原因に応じて表示部にエラーコードが表示点滅し、自動的に運転が停止します。
●エラーコードが表示点滅したときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
そのときは、表示されているエラーコードもお知らせください。

エラーコード	内容	処置方法	使用状態
002	ガス供給なし浴槽残り湯有	――――――	追いだき試運転
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する	――――――
032	注湯時間異常	浴槽の排水栓を確認後リセット	ふろ自動・追いだき
	凍結予防水抜き異常	浴槽の排水を確認後リセット	凍結予防水抜き時
035	多系統選択異常	修理を依頼する	――――――
101	給湯自己診断警告		給湯・ふろ自動・たし湯
103	暖房自己診断警告		ふろ自動・追いだき・暖房
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット	給湯・ふろ自動・たし湯
113	暖房・追いだき側点火不良		ふろ自動・追いだき・暖房
121	給湯側失火		給湯・ふろ自動・たし湯
123	暖房・追いだき側失火		ふろ自動・追いだき・暖房
140	空だき安全装置作動	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
	元ガス電磁弁回路異常		給湯・ふろ自動・ぬるく・追いだき・暖房
173	暖房回路漏水異常(少量)		ふろ自動・追いだき・暖房
252	ふろ水流スイッチ異常		ふろ自動・追いだき
290	中和器詰まり		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
300	外気温サーミスタ断線･短絡		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房
311	出湯温サーミスタ断線･短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
312	ふろサーミスタ断線･短絡		ふろ自動・追いだき
313	暖房サーミスタ断線･短絡		ふろ自動・追いだき・暖房
321	入水温サーミスタ断線･短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
331	混合温サーミスタ断線･短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
343	タンク出サーミスタ断線･短絡		ふろ自動・追いだき・暖房
391	給湯側自己診断フレームロッド断線･短絡		給湯・ふろ自動・たし湯
393	暖房側自己診断フレームロッド断線･短絡		ふろ自動・追いだき・暖房
422	注湯量センサ異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯
432	水位センサ異常		ふろ自動
433	暖房タンク水位検出異常		ふろ自動・追いだき・暖房
510	元ガス電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
511	給湯ガス電磁弁異常		給湯・ふろ自動・たし湯
513	暖房ガス電磁弁異常		ふろ自動・追いだき・暖房
542	切替弁異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯
543	暖房回路漏水異常(多量)		ふろ自動・追いだき・暖房
562	注湯電磁弁異常		ふろ自動・たし湯
611	給湯燃焼ファン回転異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
613	暖房燃焼ファン回転異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
623	循環ポンプ異常		ふろ自動・追いだき・暖房
661	バイパス水制御弁異常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯
700	電装基板故障		――――――
701	給湯ガス比例弁駆動回路異常		給湯・ふろ自動・たし湯
703	暖房ガス比例弁駆動回路異常		ふろ自動・追いだき・暖房
711	給湯ガス電磁弁回路不良		給湯・ふろ自動・たし湯
713	暖房ガス電磁弁回路不良		ふろ自動・追いだき・暖房
721	給湯側プリ･ポスト異常		給湯・ふろ自動・たし湯
723	暖房側プリ･ポスト異常		給湯・追いだき・暖房
740	給湯リモコン通信異常		――――――
750	ふろリモコン通信異常		――――――
763	インテリジェントバーコン通信異常		――――――
901	給湯給気汚染異常		給湯・ふろ自動・たし湯
903	暖房給気汚染異常		ふろ自動・追いだき・暖房
920	中和器異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追だき・暖房
930	中和器寿命		給湯・ふろ自動・たし湯・追だき・暖房
991	給湯自己診断燃焼異常		給湯・ふろ自動・たし湯
993	暖房自己診断燃焼異常		ふろ自動・追だき・暖房

リセット操作 運転 入/切 を一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転 入/切 を「入」にする。

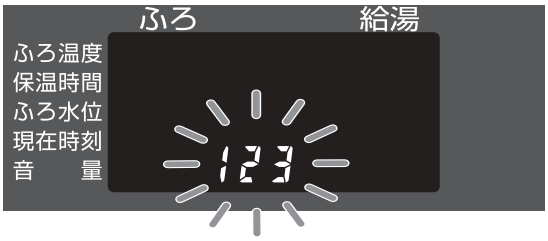
故障かな?と思ったら

■エラーコード表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてエラーコードが点滅表示し、お知らせします。
エラーコードが点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているエラーコードをお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

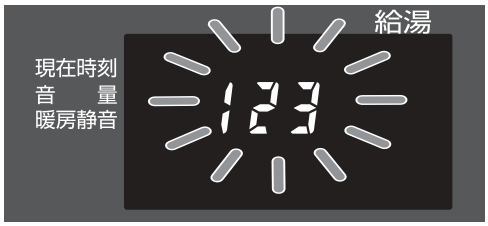
〔ふろリモコン〕

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。
ご連絡の際は、エラーコードと併せてお知らせください。



〔給湯リモコン〕

簡易表示のため、エラーコードのみを点滅表示します。



ご注意ください

●エラーコード“920”・“930”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。
エラーコード“920”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのエラーコードは点滅したままです。点滅中はリモコンに、温度の表示がされませんので、湯温を確かめてから使用してください。
エラーコード“930”では機器の使用はできません。

●エラーコード“101”・“103”が表示されたときは、燃焼状態を自己診断し、良好な燃焼を維持できない場合にお知らせする警告表示です。“101”・“103”の警告表示が点滅しているときの使用はできますが、機器の燃焼が悪化している状態で使用し続けると最終的に安全装置がはたらいて“991”・“993”のエラーコードとなり機器の使用ができなくなりますので、エラーコード“101”・“103”が点滅したときは、修理を依頼してください。

●エラーコード“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じることにより、エラーコードが解除される場合があります。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目			内容			
品名			DH-GE2712APAZL	DH-GE2712APAZL3	DH-GE2712APAZL4	DH-GE2712APAZL4-1
型式名			DH-GE2712APAZL	DH-GE2712APAZL3	DH-GE2712APAZL4	DH-GE2712APAZL4-1
外形寸法(mm)			幅480×奥行285×高さ750			
質量(kg)			47			
種類	給湯方式		先止め式			
	暖房方式		温水循環方式			
	給排気方式		屋外強制給気方式			
設置方式			屋外設置形			
点火方式			AC100V連続スパーク点火			
水圧	使用水圧		100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm^2)			
	最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm^2)			
最低作動水量	給湯		3.5ℓ/分			
	暖房		0ℓ/分以上(締切り使用可)			
	ふろ		3.8ℓ/分			
接続	ガス		20A(R3/4オネジ)			
	給水・給湯		20A(R3/4オネジ)			
	暖房	低温往き	CHジョイント(6P)			
		高温往き	QF16ジョイント			
		戻り	QF16ジョイント			
	ふろ		QF16ジョイント			
	ドレン排出口		15A(R1/2オネジ)			
電気関係	電源		本体電源　AC100V(50/60HZ)			
	リモコン側		DC24V以下			
	消費電力	待機時	4.0W(ふろ･給湯リモコン取付時)			
		同時使用	320/340W	330/350W		340/380W
		凍結予防作動時	410/430W	420/440W		430/470W
	リモコンコード		ふろリモコン2心、給湯リモコン2心			
安全装置			ファン回転検出装置(燃焼ファン) 立消え安全装置(フレームロッド) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサ･水流スイッチ･水位電極) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 凍結予防ヒータ, ポンプ運転(凍結予防装置) 電流ヒューズ(過電流安全装置) 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ)			

〔能力表〕 ※LPガスはDH-GE2712APAZLのみの仕様となります。

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		能力kW{kcal/h}		ガス接続
		給湯・暖房同時使用	給湯(最大)	暖房	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇	追いだき	暖房	
都市ガス	13A	69.5{59,800}	49.5{42,600}	20.0{17,200}	27.0	16.9	8.72{7,500}	17.4{15,000}	20A(R3/4)
	12A	64.8{55,700}	46.2{39,700}	18.6{16,000}	25.2	15.8	8.72{7,500}	16.2{14,000}	
LPガス		69.6{4.97kg/h}	49.6{3.54kg/h}	20.0{1.43kg/h}	27.0	16.9	8.72{7,500}	17.4{15,000}	

◎　ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◎　出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/c㎡}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎　本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（→P．41～44）をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

尚、修理のご依頼は、【電話】０１２０－１９３－８６０でも２４時間受付いたしますので、ご利用ください。
アフターサービスをお申しつけのときは右記のことをお知らせください。

（1）ご住所・ご氏名・電話番号
（2）現象（できるだけ詳しく）
（3）型式名（銘板表示のもの）
（4）ご購入日・ガス種
（5）道順

受付時間	平日　9:00～18:30 土曜日・日曜日・祝日　9:00～17:00（修理受付のみ）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3－1－6藤枝ビル6F	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5188	052-824-5385
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２－９－１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

保証について

●このガス風呂給湯暖房システムには保証書が付いています。
必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切り後１０年です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は水抜きの操作をしてください。（→P．35）

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店かお近くのパロマへお問い合わせください。

パロマお客様相談室　〒467-8585　愛知県名古屋市瑞穂区桃園町６番２３号　TEL　０５２-８２４-５１４５

保 証 書

品　　名	ガス風呂給湯暖房システム

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1．取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
(ハ)公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
(ニ)一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
(ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヘ)消耗部品の取替えおよび保守等の費用
(ト)本書の提示がない場合
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7．本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　様	お買い上げ日	年　　月　　日
	ご住所　〒	保証期間 本体	お買い上げ日から2年間
	お電話		
販売店	店名	保証期間 熱交換器	お買い上げ日から3年間
	住所		
	電話番号		

見本

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL　052（824）5145

修理記録

年　月　日	修理内容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。